

8L02 BA活動の現状と今後の展望

QST 花田 磨砂也

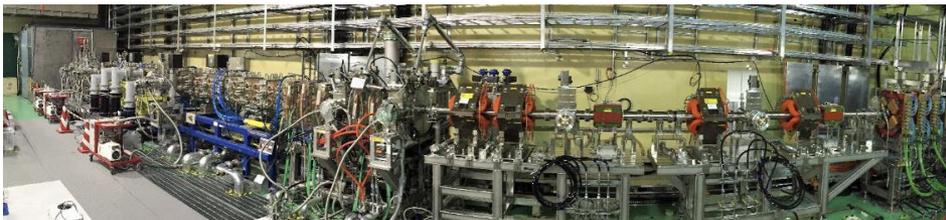
JT-60SA

- EF1コイルの補修
- 損傷部の補修に加えて、全体で数百以上の改修を終了。
- イーターに情報提供
- 今後クライオスタット全体でのパッシェン試験予定。
- プラズマ実験に向けた機器製作の進展



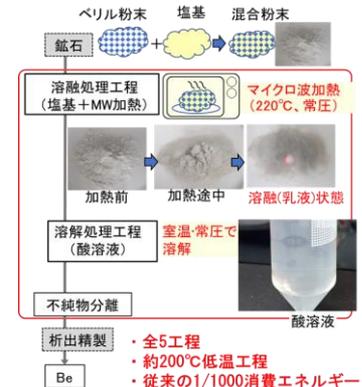
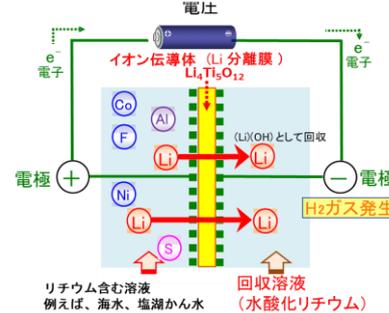
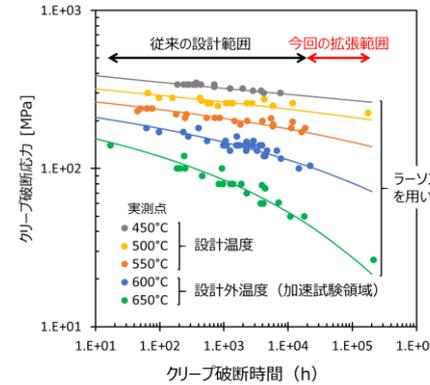
IFMIF

- 入射器で150 mA, 100kV, CW重水素ビーム生成。
- 定格 (132 kV, 640kW) の約80%の電圧で定常動作 (CW) に成功。
- 5MeV, 125 mA, CWの重水素ビーム生成を開始。



IFERC

- 超電導コイル、材料開発などの研究開発が進展。
- 第1回中間チェックアンドレビューにおいて、要求通り、基本設計のレベルに達成
- ベリリウム及びリチウムの精錬技術を開発。社会実装の研究を有効に利用し、核融合用製造技術の開発を実施



- 前置増幅器の改良
- サーキュレーターの整合
- 反射インターロックの校正
- ノイズ対策
- 遠隔データ転送の整備
- 高周波システムの安定化
- 欧州との連携

